【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公開番号】特開2007-75626(P2007-75626A)
【公開日】平成19年3月29日(2007.3.29)
【年通号数】公開・登録公報2007-012
【出願番号】特願2006-289600(P2006-289600)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　5/142　(2006.01)
Ｆ０４Ｃ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　5/14　４８１
Ｆ０４Ｃ　5/00　３４１Ｎ

【手続補正書】
【提出日】平成20年4月28日(2008.4.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
柔軟性を有するチューブと、該チューブを圧搾して流体を輸送するポンプユニットと該ポンプユニットの駆動制御を行う駆動制御回路と、無線通信部と、記憶回路と、を有し、
前記チューブの流入部および流出部と、筐体とを用いて形成される密閉空間内に、前記ポンプユニット、前記駆動制御回路、前記無線通信部、前記記憶回路及び前記チューブのうち少なくとも前記ポンプユニットによって圧搾される部分、が収容され、
前記無線通信部は、無線通信によって駆動条件を受信し、
前記記憶回路は、前記駆動条件を記憶し、
前記記憶回路に記憶された前記駆動条件に基づいて流体輸送を行うことを特徴とする流体輸送装置。
【請求項２】
請求項１に記載の流体輸送装置において、
前記無線通信部はアンテナと送受切換器とを備えていることを特徴とする流体輸送装置。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の流体輸送装置において、
前記無線通信は光通信であって、
前記無線通信部は、発光素子、受光素子及び制御回路、を備えることを特徴とする流体輸送装置。
【請求項４】
形成　請求項１ないし請求項３のいずれか一項に記載の流体輸送装置において、
前記筐体は、当該筐体の外郭に突出部がなく、且つ、前記筐体及び前記チューブが、生体適合性を有する材料で形成されていることを特徴とする流体輸送装置。
【請求項５】
請求項６に記載の流体輸送装置において、
前記筐体は、チタン、チタン合金、セラミックス、ポリエチレン樹脂、硬質シリコン樹脂、の少なくともいずれか一つによって形成され、

前記チューブは、シリコンゴムによって形成されていることを特徴とする流体輸送装置。